



いわて生協

2017年7月号

復興支援活動ニュース

2017年6月27日発行

いわて生協 組合員活動チーム

電話：019-603-8299

FAX：019-687-1117

梅雨に入り、雨の日が多くなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。今回は昨年からはじまった、「被災地支援活動助成金」を受けた団体の報告や支援活動を続けていく思いなども紹介しています。

復興支援活動



★★★ バスボランティア ★★★

6月3日(土)陸前高田でバスボランティアを実施。総勢30人が、陸前高田ヤルキタウンの芝生整備と椿の道の草刈りに分かれ活動。

けせんセンターの職員もボランティアさんと一緒に汗を流しました。



★★★ 被災地支援活動助成金を受けた団体 ★★★

いわて生協の「被災地支援活動助成金」を活用している「宮古読み聞かせの会 おどっつあんS」に6月13日いわて生協通常総代会で、活動の取り組みを報告いただきました。3月に三陸鉄道を貸し切り、列車の中で読み聞かせなどを行ない、親子170名の参加で好評でした。

これまでも他の助成金を受けていましたが、今回は受けられず、いわて生協の助成金で継続することができたと感謝の意が伝えられました。



★2011年7月から前へ ★★★

一関コープ 理事 佐藤愛理

2011年7月…。東日本大震災後、初めて陸前高田市を訪れた日のことを、私は一生忘れません。その日一関コープで高田1中の避難所を訪問しました。私は1歳位の男の子の相手をし、人なつっこい子で、片手で私の首筋を触るのが気になりました。1時間程遊んだ頃、年配の女性が私に近付いてきて、自分のひ孫であることを話し始め「女の人があるとママだと思って離れないんだよ。ママはザブンと波で…。」聞いた瞬間、私の体は凍り付き、頭は真っ白になりましたが、不思議と涙は出ませんでした。ただ、生まれて初めて“絶句”という言葉を経験し、いたわりの言葉もお別れの言葉も言うことができず、ただただ、自分の無力さを思い知らされました。一週間位して、ふと家に一人でいる時、あの男の子が私の首筋を触っていたのを思い出しました。きっとママに対しても触っていたのではと、気づいたら声をあげて泣いている自分がいました。それから私は「ふれあいサロン」に必ず行くようになりました。震災から6年。風化が叫ばれていますが、仕方がありません。人は目の前のことで頭がいっぱいになり、大事なことでわかっていても、ふと忘れてしまうのだと思います。大切なことは思い出さかさないか、気づくか気づかないか、心で感じるか感じないかです。思い出す人、気づく人、心から感じる人を増やしたいと心から思います。生きにくい世の中だから、大変なことがたくさんある世の中だから、思い出すように、気づくように、心から感じるように、私は行動していきます。

2011年7月の無力感を感じた日から、私はいつの間にか、自分でできることを見つけて

いたのです。

(こへふ委員に毎月配布されている“まなびのもと”から抜粋)



ふれあいサロン



今月のサロンの様子と ボランティアの声

<陸前高田 サンビレッジ会場>



手縫いでチクチク・・・今日は何ができるかな。体操やおしゃべりも楽しいな～♪

<宮古市 鉾ヶ崎公民館>



万華鏡を作りました。
今回は最後のサロンでした。



コープこうべ
さんからのプ
レゼント「つば
きのブローチ」

<陸前高田 矢作中仮設住宅>



さすが！男性の方も手縫いが上手ですね。

1人の方は87歳で1人暮らし。薬を飲んでいないという健康な方で、若さの秘訣は何かと聞くと「いつも訪問してくる人が絶えなくて、バカ話（冗談）を言って笑っているから」と教えてくれました。ボランティア60歳代が3人だったにもかかわらず「若い人達とお話しできて楽しかった」と言っていたと、嬉しかったです。
(宮古市 グリーンピアサポートセンター)

仮設住宅の時の仲間が10名集まっておしゃべり。新しい場所での生活に慣れてきているとは思いますが、苦労した仲間が集まれば話も盛り上がりストレスも発散され、みなさんとても楽しそうでした。(宮古市 川向赤沼家の小屋)

顔を見合わせながら、食べたり、おしゃべり、お茶飲みがはずみました。仮設の住人が大槌の情報や住宅状況を教えあい、とても良い交流の場になっているようです。
(大槌町 小槌第8仮設住宅)

食の支援

通常のふれあいサロン内で「3行レシピの料理をみなさんで作っているサロン」もあります。

【生協料理サロン】

- ・ 6/15 八木沢公営住宅 参加2名+スタッフ2名
- ・ 6/21 宮古市中里仮設 参加7名+スタッフ7名
(味の素さんとのコラボ)

今回のメニュー(3行レシピから)

- ①豆腐のなんちゃってあげだし
- ②豚肉のマヨネーズ焼き
- ③キャベたま炒め



※切る食材も2品だけ!? とても好評でした！

キット作り

※新しいキットのレシピ也大募集です。「これは！」というレシピがあれば事務局に作り方を教えてください（作り方の紙があると嬉しいです）

7月の新しいレシピは、「ウォレット（お財布）」「ハギレのペンケース」です。

⇒現在キット作りをしていただいています。もうしばらくお待ちください。

●○○● キットの在庫情報 ●○○●

- ・ アームカバー
- ・ ふくろう
- ・ ティッシュボックスカバー
- ・ ハギレとフェルトの小さい小物入れ（大・小）
- ・ 鍋しき
- ・ メガネケース など

※詳しくは事務局までお問い合わせください

●○○● キット作りありがとう ●○○●

- ・ スポットかぶれる三角巾（釜石コープ）
- ・ 吊るすボックスティッシュカバー（大槌キットボラ）
- ・ 牛乳パックのトレイ（ちょぼら花巻）
- ・ 巾着袋入れ（水沢コープ）
- ・ めがね入れ（一関ふれあいサロン応援隊）
- ・ 牛乳パックの小物入れ（釜石コープ）
- ・ 東袋（久慈コープ）

ありがとう
ございました

支援を
ありがとう



お菓子・ジュースのご支援

- ・「コープいしかわ」さん
- ・「コープかがわ」さん
- ・「ユーコープしずおか」さん
- ・「コープみらい」さん
- ・「コープえひめ」さん

現地でのご支援

- ・5/26(金)大槌
- 「医療生協さいたま」さん

おおさかパルコープ職員研修

・5月24日（水）
震災直後から様々な支援をいただいている「おおさかパルコープ」さんは、毎年被災地での職員研修を実施。今回は、新入協者4名を含む7人が来県して、いわて生協の復興支援活動を学習し、ふれあいサロンに参加してたこ焼きをご馳走していただきました。



京都生協組合員さんより、色紙をいただきました。お菓子に添えてお届けします。

●○○● 3行レシピのボランティアありがとうございました ●○○●

6月15日と16日の2日間、3行レシピ⑬のホチキス止めの作業にボランティアさん、延べ 6人が参加しました。

ベテランのみなさんも多く、手慣れた手つきで丁寧に3行レシピを作ってくださいました。これから沿岸地域にお届けします。



暑くなってきましたが、水分補給はじめ健康に気を付けてください！

家の中でも水分補給は忘れずに！

食の支援では、食材の管理や手洗いなど気を付けましょう！